

温泉・銭湯入浴料への支出

- 家計調査（二人以上の世帯・単身世帯）結果より -

新年を迎え、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

寒さも一段と厳しくなり、暖房やストーブが活躍していることと思いますが、たまには温泉や銭湯で冷えた体を温めるのも気持ちの良いものです。

そこで今回は、温泉・銭湯入浴料への支出についてみてみましょう。

注）温泉・銭湯入浴料には、銭湯代、温泉入浴料、入湯税、スーパー銭湯入浴料等が含まれますが、宿泊に伴う入湯税や温泉テーマパークの入場料等は含まれていません。

温泉・銭湯入浴料への支出が多い1月

まず、温泉・銭湯入浴料の月別支出金額（平成20～22年平均）をみてみましょう。最も支出金額が多い月は1月の278円で、1か月平均支出金額195円の約1.4倍となっています。

また、1月に次いで、8月、2月、5月の支出金額が多くなっており、気温が低い月、休日が多い月に温泉・銭湯入浴料への支出が多くなると考えられます（図1）。

単身世帯では男性かつ高齢な方ほど多い温泉・銭湯入浴料

次に、単身世帯の温泉・銭湯入浴料の年間支出金額（平成22年）を、男女別、年齢階級別にみてみましょう。男性の平均支出金額が3,650円であるのに対し、女性が2,593円と、男性が女性の約1.4倍支出しています。

また、60歳以上では、34歳以下より、男性で約3.3倍、女性で約4.5倍支出しており、高齢になるほど支出金額が多いことも分かります（図2）。

寒い地方で支出の多い温泉・銭湯入浴料

最後に、温泉・銭湯入浴料の年間支出金額（平成20～22年平均）を地方別にみてみましょう。最も支出金額の多い地方は北海道地方の4,029円で、次いで北陸地方、東北地方となっており、寒い地方で温泉・銭湯入浴料への支出金額が多いことが分かります。

一方、沖縄地方では178円と、最も支出金額が少なくなっています（図3）。

図1 温泉・銭湯入浴料月別支出金額
（平成20～22年平均 二人以上の世帯）

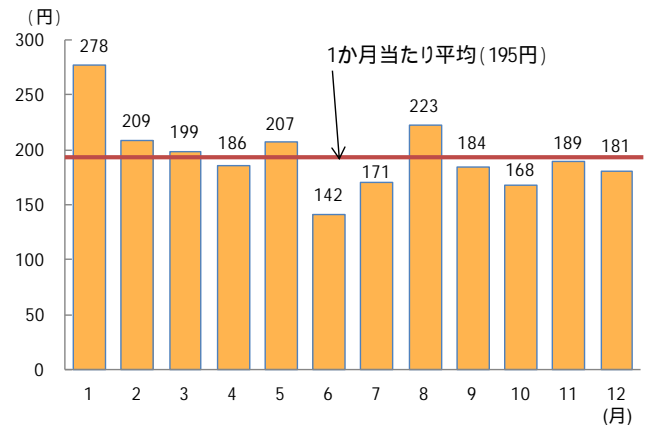


図2 男女・年齢階級別の温泉・銭湯入浴料年間支出金額
（平成22年 単身世帯）

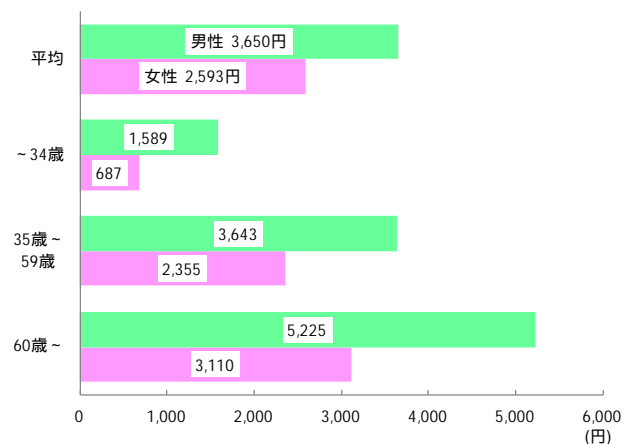


図3 地方別の温泉・銭湯入浴料年間支出金額
（平成20～22年平均 二人以上の世帯）

